



資料 1

施設整備の目指す姿

令和 4 年 8 月 16 日 開催

第 3 回 神奈川県営水道事業審議会資料

1 施設整備の目指す姿（第2回審議会資料再掲）

【安全】

良質な水の安定供給 ①

- ✓ 気候変動等による水源水質の変動への対応
- ✓ 自然災害（豪雨・火山噴火等）の影響を受けにくい浄水施設の構築



【持続】

健全な水道施設 ②

- ✓ 老朽管の解消
- ✓ 水需要の減少に合わせた施設のダウンサイジング
- ✓ 関係者との連携等による事業費の抑制



【強靱】

災害・事故に強い水道施設 ③

- ✓ 断水日数の短縮
- ✓ 停電対策
- ✓ 影響の大きな施設（基幹管路等）から優先して耐震化



【環境】

環境にやさしい水道システム ④

- ✓ 脱炭素化
- ✓ 省エネルギー機器の導入
- ✓ 工事で発生する土砂等の削減・再資源化及びリサイクル材の使用



2 第2回審議会での主なご意見①

良質な水の安定供給について

- ・水道使用者の立場からすると、**安全な水が第一**である。
- ・「安全な水を安定的に」という文言には2つの目的が含まれていて分かりづらい。「水質面で安全な水を供給する」として、「**安定給水**」は「**強靱**」の部分で検討すべき。
- ・水道は市民生活に密接に関わり合っており、**安全で常に良質のものが家庭に届く**ということが市民活動に必要であり、まちづくりにも関係してくる。

3 目指す姿について①



(目指す姿への反映)

- ・安全な水として単独で記載することとし、安定は強靱の項目で記載
- ・安全で常に良質な水が届くことを表現

【施設整備の方向性】

安全で良質な水道

【目指す姿】

- ✓ 安全で良質な水道が、どこでも常に供給されています
- ✓ 気候変動等による水質変化に対して、的確な対応が実施できています

4 第2回審議会での主なご意見②

健全な水道施設について

- ・水道の利用者側には、安い水道料金を維持してもらいたい気持ちが強いと思われるため、「**経済性を維持しながら**」といった要素を入れられないか。
- ・（施設整備の方向性において）**経済性という概念**が1つの項目としてあると、より全般を横串で刺したような議論ができるのではないか。
- ・「関係者との連携等による事業費の抑制」にある「関係者」には、ライフライン事業者が入ると想定するが、平時も有事もタイアップして**コストダウン**できる要素があるのではないか。
- ・これだけの大規模なエリアで、いろんな意見がある中では、**耐震化や複線化といった水道システムの高度化**は、広報で理解を求めてでも行わなければならない部分ではないかと思う。問題は、それに見合ったコストとだけ考えていただけかどうか。
- ・「持続」には、「人口減少していく社会においても、**財政的にも持続可能な施設を作る**」という意味が含まれているのではないか。

5 目指す姿について②

(目指す姿への反映)

- ・ 経済性を意識し、財政的にも持続可能な施設を、「施設規模が適正（ダウンサイジング）」で表現
- ・ 持続可能な施設を「計画的な更新」で表現
- ・ 関係者との連携など工夫により、「経済的な施設整備」で表現
- ・ 水道システムの高度化については強靱で記載

【施設整備の方向性】

将来にわたり適切に管理された水道

【目指す姿】

- ✓ 水需要に合わせて**施設規模が適正化**され、効率的に利用されています
- ✓ 施設が適切に維持管理され、**計画的に更新**されています
- ✓ 多様な関係者との連携により、**経済的な施設整備**がされています

6 第2回審議会での主なご意見③

災害・事故に強い水道施設について

- 「強靱」という表現は国でも使われているが、一般的ではない。水道事業で「強靱」という言葉の意味を具体的に説明すると分かりやすい。
- 「強靱」が「災害からの回復」を意味する言葉になっているが、非常時であっても水の供給を途絶えさせないという点で、「安定給水」という観点と合わせて考えていくべき。
- 基幹管路の耐震化率についての議論も行い、メリハリをつけながら、できるだけ早く耐震化を図り、きたるべき大きな災害に備えなければならない。

7 目指す姿について③

(目指す姿への反映)

- ・強靱という言葉の具体的な説明を「災害・事故にも強い」で表現
- ・強靱を「安定給水」で表現
- ・水道システムの高度化を含め「被害を最小限に抑える対策」で表現
- ・早期に耐震化をはかり、効率的に優先順位をもって整備を表現するため基幹施設とそれ以外にわけて対策を表現

【施設整備の方向性】

災害・事故にも強い水道

【目指す姿】

- ✓ ストレスを感じることがなく生活が送れるよう、**安定給水**が継続されています
- ✓ 大規模地震発生時においても、基幹施設の**被害を最小限に抑える対策**がされています
- ✓ 激甚化する様々な災害や事故に対し、被災した場合にも迅速に対応できる対策がされています

8 第2回審議会での主なご意見④

環境にやさしい水道システムについて

- 「環境」こそ、本来は「持続可能」という観点のものであるため、従来型の環境対策より **SDGs** を意識した形にしたほうが良いのではないか。
- 環境という点では、ライフサイクルアセスメントという、長い目で見たときに本当に環境にやさしく、**CO2**が削減されていくものは何か、という視点があり、それは10年や20年のオーダーではないが、そういったものも考えて5年計画や10年計画で実行に移していかなければならない。

9 目指す姿について④

(目指す姿への反映)

- ・SDGsに資する施設整備となるように「持続可能な社会の実現」で表現
- ・CO2削減など環境に配慮した施設整備を構築することを表現

【施設整備の方向性】

環境にやさしい水道

【目指す姿】

✓ 持続可能な社会の実現のために、環境に配慮した施設が構築されています

10 水道施設の目指す姿（まとめ）

【安全で良質な水道】

- ✓ 安全で良質な水道が、どこでも常に供給されています
- ✓ 気候変動等による水質変化に対して、的確な対応が実施できています

【将来にわたり適切に管理された水道】

- ✓ 水需要に合わせて施設規模が適正化され、効率的に利用されています
- ✓ 施設が適切に維持管理され、計画的に更新されています
- ✓ 多様な関係者との連携により、経済的な施設整備がされています

【災害・事故にも強い水道】

- ✓ ストレスを感じることがなく生活が送れるよう、安定給水が継続されています
- ✓ 大規模地震発生時においても、基幹施設の被害を最小限に抑える対策がされています
- ✓ 激甚化する様々な災害・事故に対し、被災した場合にも迅速に対応できる対策がされています

【環境にやさしい水道】

- ✓ 持続可能な社会の実現のために、環境に配慮された施設が構築されています